

児童たちと夢について語りました

就任式の後、伝法小学校の児童たちが徳永さんに「夢」について質問を行いました。徳永さんは難しい問いに頭を抱えながら、車掌のモノマネを披露するなどユーモアを交えつつ、一つ一つ丁寧に答えてくださいました。

夢をあきらめそうになったとき、続けられる秘訣は？

「夢を叶えたい」という強い気持ちは大事。後悔しないように、思い切りやることかな。

声優になりたくてYouTubeで勉強しています。

いろんな作品を見て勉強するのはとてもいいと思いますよ。僕も車掌さんになりたくてモノマネから始めたからね。

徳永さんはどうやって夢を叶えたの？

僕の夢は歌って踊れる電車の運転手！どうやって演歌歌手になったんですか？

高校生の時に、友だちに誘われてNHK「のど自慢」に出て決勝大会まで進んで日本一に！何がきっかけになるかわからないから、君も頑張って！

僕の後輩みんなしつかりしてるな！

撮影した
チラシにサインも
いただきました！



徳永さん×阿部校長×中島区長
子どもたちの「自己肯定感」「夢」について語りました。

自己肯定感

中島区長 日本の子どもたちは欧米に比べて自己肯定感が低いと言われていますが、なぜだと思いますか？

阿部校長 ほめることが少ないからでしょうか？嫌なところは目につきやすい反面、良いことを逃さずほめるって難しいんですよね。

徳永さん 僕の家は家族仲が良く、怒られはしましたが、良いことに関してはきちんと褒めてくれました。近所の人も歌がうまいと褒めてくれました。

夢

徳永さん 努力は必ずしも報われないし、失敗する時は失敗するし、叶わない時は叶わない。ただ振り返ってみた時に、後悔ではなくやったことは正解だった、無駄ではなかったと思えるような過ごし方をしています。

阿部校長 私自身、子どもの頃から教師になりたかったわけではなくて、教育実習で子どもと接するなかで、教師の道もいいなと考え始め、その道につくことができた。子どもたちにも、徳永さんのように自分の好きなことを見つけて続けてほしいなと思いました。



中島区長ふりかえり

自己肯定感を保つためには「今の自分でいいんだ」と思えること。そのためには保護者だけでなく、周りの大人たちから「自分のことを認めてくれている」と子どもが感じられることが必要です。夢や目標は叶わないこともあるけれど、自分のやったことが正解だと思える土台づくりの応援をしていきたいと感じました。